



自ら考え、行動する。



インターンシップ・ガイドブック



2023



つながる力。

大阪経済大学
OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

INDEX

- ① インターンシップとは
- ② インターンシップの目的と心構え
 - (1) インターンシップの目的
 - (2) 大阪経済大学のインターンシップ
 - (3) 実習での心構え
- ③ 本学協定型と公募制の違い
- ④ 協定型インターンシップ
 - (1) 講義スケジュール【予定】
 - (2) 協定型インターンシップ科目受講のルール
 - (3) 協定型インターンシップの注意事項
- ⑤ 公募制インターンシップ ※単位認定対象外
 - (1) 公募制インターンシップ準備プログラム【予定】
 - (2) 公募制インターンシップの注意事項

1 インターンシップとは

インターンシップとは、

「学生がその仕事に就く能力が備わっているかどうかを見極めることを目的に、自ら専攻を含む関心分野や将来のキャリアに関連した就業体験」です。

主に夏期休暇1～2週間程度、社会人として勤務経験を積むことができる機会とイメージして下さい。インターンシップに参加すると組織の実情、実際の仕事にふれることができるなど、普段の大学生活ではめったに経験できない多くのことを、見て、聞いて、学ぶことができます。

《学生のキャリア形成支援活動を4つに分類》

タイプ
1

オープン・カンパニー

企業等が実施するイベントや説明会

タイプ
2

キャリア教育

授業や企業等で実施する教育プログラム

タイプ
3

汎用的能力・専門活用型 インターンシップ

職場での就業体験

タイプ
4

高度専門型 インターンシップ

高度な専門性を重視した就業体験

※タイプ3ならびにタイプ4が「インターンシップ」に該当する活動

2 インターンシップの目的と心構え

(1) インターンシップの目的

インターンシップ（就業体験）の目的は次のようなものがあります。

- 社会で働くイメージをもつため
- 自分の現状を知り、今できること、今後の課題を明確にするため
- 大学の学びの重要性を知るため
- 業界・企業を知ることによって、社会のしくみを理解するため
- 社会人として必要な能力を知り、身につけるため
- 自分の職業適性や将来設計を考えるため
- ゼミ等で学んだことを実践し、今後の研究に生かすため

インターンシップに参加するには、自分なりの目標を定めることが大切です。

(2) 大阪経済大学のインターンシップ

本学協定型インターンシップは、「自ら考え、行動する」をキャッチフレーズに掲げています。受け身ではなく、自分で答えを見つけ出す科目です。自分で考え、判断し、責任ある行動を取る姿勢を重視しています。

講義では、実習先でひとりの社会人として、自ら考え、動くことができる人材育成を目指しています。各自の課題を明確にし、すべてにおいて積極的な行動が必要です。

また実習期間中は、与えられた仕事をこなすだけでなく、社員（職員）と同様に自分で考え、能動的に動くことが求められます。

(3) 実習での心構え

皆さんは、お客様として実習に参加する訳ではありません。身だしなみ、挨拶、時間厳守、報告・連絡・相談（ホウレンソウ）を基本として、自分は社会人だという自覚を持って行動しましょう。

また受入先にとって、実習生を受け入れることは、大変な時間と労力の負担となります。それでも受入先は皆さんに貴重な経験をする「場」を提供してくれています。感謝の気持ちをもって実習に参加してください。

3 本学協定型と公募制の違い

本学ではインターンシップを大きく2つに分類します

	本学協定型インターンシップ	公募制インターンシップ
実習先選択	・大学が提供する実習先に限定される ・業種や経験できる業務で選択し、企業(団体)名による選択不可 ★特定の企業(団体)以外に参加する意思がない場合は、受講できません	・実習先を自由に探すことができる ・実習先を自由に選択できる
実習先確保	・原則、いずれかの企業・団体に参加できる ★希望の企業(団体)とは限らない	・エントリー(出願)後、多くは選考があり、通過しなければ参加できない
実習時期	・夏期休暇期間(8月上旬～9月中旬)	・年中(随時) ※企業・団体により実施時期は異なる
実習内容	・概要(授業内で配布)や先輩の実習記録から、ある程度プログラムの把握ができる ・原則、5日以上、40時間以上の就業体験ができる	・「就職活動行為」の実践的な体験ができるが、実習内容の明示の保証はない ・1 day仕事体験等の短期プログラムは、就業体験ができない

本学協定型

履修手続き

- ① インターンシップ科目履修ガイダンス動画を視聴
- ② 履修申込書(兼 受講誓約書)の提出

【提出期限】4/1(土)～4/4(火) 13:00 厳守

【提出方法】WEB (Microsoft Forms)

※詳細は補足資料参照

事前講義

※詳細はシラバス参照

- ▼ 講義
- ▼ 実習先希望届提出(5月中旬予定)
- ▼ マッチング面接(5月20日(土)予定)
- ▼ 実習先発表(6月3日(土)予定)
 - ・実習先決定後の辞退はできません
 - ・提出書類の不備や、以降の受講態度によっては決定を取り消すことがあります

- ▼ 実習先ごとに必要な書類提出
 - ・実習先により異なりますが、短期間での対応が求められますので注意が必要です

- ▼ 実習先事前訪問

- ▼ 実習参加(原則8月5日～9月13日)

- ▼ 実習終了報告
 - ・各自、実習終了後、インターンシップ課へ報告

- ▼ 実習先へお礼状送付

- ▼ 実習後の課題作成・提出
 - ・インターンシップ課に、所定の期間内に提出

- ▼ 最終講義(9月14日(木)予定)

- ▼ 事後アンケート

- ▼ 成績発表(秋学期の発表)

実習参加

事後講義

公募制(夏期の場合)

- ※公募制は履修手続きはありません
- ※スケジュールや研修の有無は実習先によって異なります

- ▼ 公募制インターンシップガイダンス(4月予定)

- ▼ 実習先の選択・エントリー(4月～)

- ▼ 応募先(企業・仲介機関等)での選考

- ・エントリー先により選考内容は異なります
- ・実習先決定後の辞退はできません

- ▼ 実習先の事前研修会等参加(事前訪問)

- ・実習先により異なります

- ▼ 実習先の個別課題作成・提出

- ・実習先により異なります

- ▼ 実習先の事後報告会等参加

- ・実習先により異なります

4 協定型インターンシップ

(1) 講義スケジュール【予定】

※詳細はシラバス参照

回数	日程	主 題	内 容
	木曜1限・2限 (どちらのクラスも同じ内容です)		
1	4/13 (木)	オリエンテーション インターンシップの意義 自己分析①(思考)	・講義の進め方 (授業の取り組み方、評価方法、実習先の決定方法、身だしなみ等) ・インターンシップとは ・自己理解 (自身の興味・関心、強みを認識する) ・目標の設定
2	4/20 (木)	業界・企業研究①	・業界・企業理解 ・これからの働き方、社会で活躍する人材とは (社会人基礎力) ・企業講話を予定
3	4/27 (木)	業界・企業研究②	・業界・企業理解、自身の興味・関心との関わり ・実習先の選び方のポイント
4	5/11 (木)	自己分析①	・自己理解 (自身の強みを明確にする) ・実習での目標設定 (自身の能力について)
5	5/18 (木)	自己分析②	・自己PR (相手に自身の考えを伝える)
6	5/20 (土)	面接 (実習先の選定)	・実習先マッチング面接 (グループ面接)
7	5/27 (土)	グループワーク①	・課題解決グループワーク
8	6/3 (土)	実習先発表	・実習先の発表 ・事前準備 (実習先調査、実習での目標設定) について
9	6/8 (木)	グループワーク②	・課題解決グループワーク ・履歴書添削
10	6/15 (木)	履歴書・誓約書提出	※各授業時間内、教室にて提出 (授業はありません)
11	6/29 (木)	グループワーク③	・課題解決グループワーク
12	7/6 (木)	実習準備①	・基本のビジネスマナーの実践 ※リクルートスーツ、革靴、リクルートカバン
13	7/13 (木)	実習準備②	・事前準備および実習について (心構え、日誌の書き方、実習中の注意事項、提出物等) ・事後講義について
14	〈実習〉	各企業・団体でのプログラム	
15	9/14 (木)	実習の振り返り	・実習の振り返り (グループワーク) ・今後の目標設定
	11月頃	事後アンケート	実習後の行動・変化について

5/20(土)、5/27(土)、6/3(土)、9/14(木)は所定の開講日と異なりますが出席が必須です。

(2) 協定型インターンシップ科目受講のルール

インターンシップでは、社会人に必要なマナーや常識的なモラル、スキルが求められます。皆さんはそのことをしっかり意識して講義に臨んでください。インターンシップ科目の講義を受講(受講に伴う実習参加を含む)するにあたり、『インターンシップ科目履修申込書』および『インターンシップ科目受講誓約書』を提出してください。

実習先の決定について

本学協定型の実習先は、それぞれ「受入人数枠」があります。履修者全員が実習に参加するために、個別相談をしながら受入人数枠に余裕のある実習先に決定することがあります。

受入先決定後の辞退や履修取り下げは不可

受入先(仲介機関を含む)は皆さんの実習受入に向けて様々な準備をしてくださっています。受入先と大学の関係は次年度以降も継続します。受入先は大阪経済大学卒業生(皆さんの先輩)が在職中の所が多く、皆さんの就職先となりうる企業が多く含まれています。辞退や履修の取り下げは、関係者に迷惑をかけるばかりでなく、皆さん自身の就職活動にも悪影響を及ぼすことを認識してください。

実習先について

マッチング面接により、履修者全員が志望度の高い実習先に行けるわけではありません。知らない業界・企業(団体)であっても、これまで多くの学生が新たな知識・経験を得てきました。実習先の志望度に関わらず、実習を通じて自身の将来のキャリアについて考えることができます。

〈講義・実習での取り組み姿勢〉 ※必ず守ること

- ①講義は出席を重視。3回以上休むと単位は認定しません(但し公認欠席は除く)。
- ②時間を守る(遅刻をしない)。
- ③期限を守る(提出物など)。
- ④室内では、帽子を脱ぎ、イヤホン等は外す。
- ⑤講義中は私語を慎み、飲食は禁止(不要なものは机上に置かない)。
- ⑥スマートフォンなどはマナーモードにするか電源を切りカバンにしまう。
- ⑦講義に出席するだけでなく、積極的に講義に参加する。
- ⑧守秘義務を徹底する。

(3) 協定型インターンシップの注意事項

- ①インターンシップ履修希望者は、「インターンシップ科目履修申込書(兼 受講誓約書)」と予備登録が必要です。
- ②実習は夏期休暇期間中に実施されます。
夏期集中講義科目の日程などをよく確認、検討したうえで履修してください。
- ③インターンシップ実習は、公欠(公認欠席)の事由に該当しません。
- ④実習先の選考(面接)により参加の可否が決定されることがあります。
また、受入先の突発的な事情(合併・買収・倒産等)で実習が不可能になることもあります。
- ⑤講義に出席していても、結果的に実習に不参加の場合は、成績評価(単位付与)はできません。
- ⑥履修最高単位に含めず履修できますので、受入先の理由による実習不参加で単位取得できなかった場合も、皆さんに登録単位数の上で不利にならないよう配慮されています。
- ⑦自宅から実習先までの交通費(往復)は、自己負担です。

5 公募制インターンシップ ※単位認定対象外

企業や団体が独自で募集、実施するインターンシップです。「大学コンソーシアム大阪」をはじめ、仲介機関（全国各地の経営者協会等の団体）が学生と受入先の橋渡しを行うものもあります。
大学に届いた公募制のインターンシップの案内は、KVCで告知します。

(1) 公募制インターンシップ準備プログラム【予定】

このプログラムは公募制インターンシップの準備のためのものです。希望の内容に自由に参加できます。

※1・2年生は、「オープンカンパニー」「仕事体験」等の名称で実施されます。

※事前予約制

回数	日 程	主 題	内 容
1	4/21 (金) 3限	オリエンテーション 自己分析	インターンシップとは 公募制インターンシップの探し方、紹介 自己理解（自身の興味・関心を認識する）
2	5/19 (金) 3 限	自己分析 インターンシップの選び方(1Day～、 複数日) 実習プログラム内容の確認	適性診断 興味・能力・性格による検査 インターンシップの選び方 プログラム内容の確認
3	6/2 (金) 3限	インターンシップエントリー会 E S 対策（書き方説明）	エントリー方法等について説明 E S の書き方について説明
4	6/9 (金) 3限	E S を作成する	E S の見本を参考に作成
5	7/14 (金) 3限 4限	ビジネスマナー オプション：メイク講座	ビジネスマナーの実施 実習に向けての準備 インターンシップでの目標設定

(2) 公募制インターンシップの注意事項

- ①応募方法は各自で直接行うものと、大学を通じて行うものがあります。
大学を通じて申し込む場合、大学から企業に提出する書類作成に時間を要します。
その場合は、企業（団体）の応募締切日の2週間前までに、インターンシップ課に申し出てください。
- ②企業（団体）から、保険加入を指示される場合があります。
大学での保険加入には条件がありますので、一部のインターンシップを除き、各自で保険に加入してください。
- ③インターンシップは、公欠（公認欠席）の事由になりません。

●○● 進路支援センターインターンシップ課 B館1階 ●○●

【開室時間】 月～土曜日：9:00～12:30, 13:30～17:00

【TEL】 06-6328-2431(代表)

【E-mail】 internship@osaka-ue.ac.jp